2026 年 5 月 28 日

レポート

2025 年夏期・秋期 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査

～常態化する猛暑が集客に悪影響も、約 8 割の施設で集客数対前年比増　台風による影響が比較的小さかったことや、施設の猛暑対策強化・定着が後押し～

観光戦略室 兼 研究開発第 1 部（名古屋）　副主任研究員　加藤 千晶
観光戦略室長 兼 研究開発第 2 部（名古屋）　主任研究員　内田 克哉
観光戦略室 兼 研究開発第 2 部（名古屋）　研究員　服部　愛

本調査では、東海 3 県（愛知県、岐阜県、三重県）の主な集客施設における 2025 年夏期（25 年 7 月 21 日～8 月 31 日の 42 日間）の集客実態を把握するため、各施設を対象にアンケート調査を実施した（26 年 1 月～2 月）。89 施設中 59 施設から回答を得た。

なお、本調査では、愛知県が定めている「あいちウィーク[1]」（11 月 21 日～27 日）による集客への影響についても調査を行った。

【結果概要[2]】

・25 年夏期は、猛暑による集客への悪影響が常態化するものの、約 8 割の施設で対前年比増。台風による悪影響が前年よりも小さかったことや、猛暑対策の強化・定着も好影響と見られる。

25 年夏期の集客数は、24 年夏期の集客数と比較すると、対前年比較が可能な 57 施設中、45 施設（78.9%）で増加、12 施設（21.1%）で減少となり、対前年比で増加した施設数が減少した施設数を大きく上回った。【図表 3】

これは、ノロノロ台風や南海トラフ地震臨時情報の発表が集客に悪影響となった 24 年夏期と比較すると、25 年夏期は台風等の影響が小さかったためと思われる。また、約 6 割（57.9%）の施設が「猛暑」は集客に悪影響となったと回答したものの、各施設の猛暑対策や暑さの和らぐ夕方・夜間の魅力強化策が定着したことも功を奏したと考えられる。【図表 4-1】

・一部施設では大阪・関西万博が夏期集客に悪影響

25 年夏期は大阪・関西万博の開催期間と重なったため、関西からの来訪者や訪日外国人旅行者が減少する等、大阪・関西万博が集客に悪影響を及ぼしたと回答した施設（4 施設）もあった。

■各施設の集客数の状況（25 年夏期）【図表 1-1、1-2】

・集客数は、「ナガシマリゾート」（三重県桑名市）の約 216 万人が 19 年連続トップ。次いで「中部国際空港セントレア」（愛知県常滑市）が約 103 万人、「刈谷ハイウェイオアシス」（愛知県刈谷市）が約 100 万人、「河川

[1] 愛知県が 2022 年に県政 150 周年を迎えたことを契機として条例で定められた「あいち県民の日」（11 月 27 日）を含む直前 1 週間を指す。期間中は、県の施設等が割引や無料で利用でき、愛知県の魅力を発信するイベント等が県内各地で行われている。県内の学校では、「あいちウィーク」期間中の 1 日が「県民の日学校ホリデー」として指定され休業日となる（私立学校は各学校により判断して実施）。
[2] 小数点以下第 2 位を四捨五入した数値を記載しているため、項目別の合計が 100%とならない場合がある。

環境楽園」(岐阜県各務原市)が約 92 万人、「バンテリンドーム ナゴヤ」(愛知県名古屋市)が約 73 万人と続いた。

- 上記の集客数上位 5 施設の中で対前年比の伸び率が最も高かった施設は「バンテリンドーム ナゴヤ」(愛知県名古屋市)であり、対前年比 8.7%増となった。中日ドラゴンズの試合の盛り上がりや、平日ナイトゲームでのイベント開催などが集客を後押しした。

■対前年比増加率上位施設の動向(25 年夏期)【図表 2-1、2-2】

- 増加率 1 位(291.5%増)の「愛知県美術館」(愛知県名古屋市)は、愛知万博 20 周年記念事業および大阪・関西万博との連携企画として開催された、スタジオジブリ作品に基づく作品の特別展示が集客増に影響したと思われる。
- 増加率 2 位(183.3%増)の「徳川美術館」(愛知県名古屋市)は、開館 90 周年を記念した大型企画展「時をかける名刀」の開催や、同展と合わせて開催されたゲームコンテンツ「刀剣乱舞 ONLINE」とのコラボレーション企画が集客増をもたらした。
- 増加率 3 位(71.1%増)の「養老公園」(岐阜県養老町)は、猛暑による出控えや悪天候による影響はあったものの、公園内の養老の滝へ涼を求めて訪れる団体旅行や、川遊び目的の来訪者が例年よりも多かったことや、リピーターの来訪や口コミの広がりによるキャンプ場(2022 年オープン)の利用者数増等が好影響となり、大幅な伸びが見られた。

■来訪者の動向(25 年夏期)【図表 4-1、5-1】

- 集客数への影響要因として、前年調査時と同様、約 3 割(31.4%)の施設が「訪日外国人旅行者の増加」を集客に好影響をもたらしていると回答している。「半田赤レンガ建物」(愛知県半田市)や「あいち航空ミュージアム」(愛知県豊山町)では、訪日外国人旅行団体客の来訪も集客増の一要因となっている。
- 「施設からの SNS(Facebook、Instagram、X(旧名称 Twitter)、LINE、Threads 等)での情報発信」は約 8 割、「施設以外からの情報発信(メディア放映・掲載、来訪者やインフルエンサーによる SNS 等での発信等)」は約 7 割の施設が集客に好影響をもたらしていると回答しており、情報発信戦略は引き続き施設の集客において重要な要素となっている。
- 客層ごとの増減の変化を見ると、前年と比較して増加が目立った層は、「夕方・夜間の来訪者」(43.8%)であり、次いで「訪日外国人旅行者」(43.6%)、「新規客」(42.9%)、「親子連れ」(42.6%)、「若者グループ」(41.5%)である。
- 「夕方・夜間の来訪者」が前年と比較して増加した施設の割合は、約 4 割であり、前年調査と同水準である。猛暑が常態化する中、比較的過ごしやすい夕方以降の魅力を強化する動き(夜間特別営業、夜間コンテンツの充実化等)も後押しし、夕方・夜間来訪者が増加傾向にある。

■「あいちウィーク」による集客への影響【図表 5-2、5-3】

- あいちウィーク期間中(2025 年は 11 月 21 日(金)~27 日(木))の平日の集客への影響は、約 4 割の施設が「好影響」と回答した。また、前年のあいちウィークと比較した集客の状況は、「増加した」が約 3 割で「減少した」の約 1 割を上回った。

【本調査の概要】

本調査では、東海3県(愛知・岐阜・三重)における年間約20万人以上の集客実績(新型コロナ流行前の19年度[3])を持つ主要集客施設に対しアンケートを実施。ここで言う主要集客施設は、「遊園地・テーマパーク」、「動植物園・大規模公園」、「文化施設(博物館・科学館・美術館)」、「大規模コンベンション施設」、「商業施設を含む複合レジャー施設」等を指し、ホテル、百貨店、ショッピングセンター、寺社等は対象外としている。本調査は、1998年より当社(当時は東海総合研究所)の自主研究として実施しており、夏期[4]の結果発表は今回で通算28回目。

[3]本調査では1回目の緊急事態宣言の発出(20年4月)前の19年度を「新型コロナ流行前」と設定している。
[4] 1回~22回までは夏休み調査として実施。23回目以降は、各地域での夏休み期間の差を踏まえ、調査対象期間(7月21日~8月31日の42日間)はそのまま、調査名称を夏期調査に変更して実施。

1. 2025 年夏期 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査結果［集客数順］（1/2）

図表 1-1　集客数順

№	施設名	所在地	24年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)	25年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)	対前年比 増減 (25年／24年)	施設 種別 ※1
1	ナガシマリゾート	三重県桑名市	※3 2,300,000	※3 2,160,000	※3 - %	複合
2	中部国際空港セントレア	愛知県常滑市	1,006,526	1,033,366	2.7 %	屋内
3	刈谷ハイウェイオアシス	愛知県刈谷市	940,000	998,000	6.2 %	複合
4	河川環境楽園	岐阜県各務原市	866,981	921,720	6.3 %	複合
5	バンテリンドーム ナゴヤ	愛知県名古屋市	675,639	734,662	8.7 %	屋内
6	名古屋港水族館	愛知県名古屋市	504,060	532,887	5.7 %	複合
7	ラグーナテンボス	愛知県蒲郡市	425,900	462,700	8.6 %	複合
8	名古屋城	愛知県名古屋市	※2 274,767	279,000	1.5 %	複合
9	名古屋市科学館	愛知県名古屋市	※2 279,418	268,058	▲ 4.1 %	複合
10	愛知県国際展示場　Aichi Sky Expo	愛知県常滑市	※2 172,800	248,890	44.0 %	複合
11	ＪＡあぐりタウンげんきの郷	愛知県大府市	235,332	222,238	▲ 5.6 %	複合
12	志摩スペイン村	三重県志摩市	302,000	213,000	▲ 29.5 %	複合
13	でんきの科学館	愛知県名古屋市	83,696	143,006	70.9 %	屋内
14	豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）	愛知県豊橋市	※2,4 140,323	※4 141,835	1.1 %	複合
15	養老公園	岐阜県養老町	※2 77,962	133,388	71.1 %	屋外
16	豊田市鞍ケ池公園	愛知県豊田市	154,000	130,100	▲ 15.5 %	複合
17	刈谷市交通児童遊園	愛知県刈谷市	※5 95,367	※5 116,424	22.1 %	屋外
18	日本モンキーパーク	愛知県犬山市	117,000	114,000	▲ 2.6 %	屋外
19	名古屋市国際展示場	愛知県名古屋市	136,967	108,905	▲ 20.5 %	屋内
20	日本中央競馬会　中京競馬場	愛知県豊明市	92,808	101,826	9.7 %	複合
21	大高緑地	愛知県名古屋市	90,586	99,751	10.1 %	屋外
22	一色さかな広場	愛知県西尾市	80,700	97,000	20.2 %	屋内
23	碧南市農業活性化センターあおいパーク	愛知県碧南市	107,638	92,414	▲ 14.1 %	複合
24	愛知県美術館	愛知県名古屋市	22,864	※6 89,518	291.5 %	複合
25	かねふくめんたいパークとこなめ	愛知県常滑市	82,500	89,500	8.5 %	屋内
26	リニア・鉄道館	愛知県名古屋市	63,213	80,300	27.0 %	屋内
27	国営木曽三川公園 138タワーパーク	愛知県一宮市	61,357	76,456	24.6 %	複合
28	岡崎城公園（旧 岡崎公園）	愛知県岡崎市	74,400	74,800	0.5 %	複合
29	犬山城	愛知県犬山市	63,932	72,546	13.5 %	複合
30	トヨタ産業技術記念館	愛知県名古屋市	57,713	65,886	14.2 %	屋内
31	豊川市赤塚山公園	愛知県豊川市	57,498	64,850	12.8 %	複合
32	農業文化園・戸田川緑地	愛知県名古屋市	62,780	64,494	2.7 %	複合
33	トヨタ博物館	愛知県長久手市	43,392	62,990	45.2 %	屋内
34	南知多ビーチランド＆南知多おもちゃ王国	愛知県美浜町	44,000	62,000	40.9 %	複合
35	蒲郡オレンジパーク	愛知県蒲郡市	54,502	54,798	0.5 %	複合
36	安城産業文化公園デンパーク	愛知県安城市	50,621	54,162	7.0 %	複合
37	新穂高ロープウェイ	岐阜県高山市	41,915	53,866	28.5 %	屋外
38	岐阜城	岐阜県岐阜市	41,413	49,521	19.6 %	屋内
39	幸田町民プール	愛知県幸田町	52,435	49,134	▲ 6.3 %	複合
40	徳川美術館	愛知県名古屋市	16,845	47,720	183.3 %	屋内

1. 2025 年夏期 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査結果［集客数順］(2/2)

図表 1-2 集客数順

№	施設名	所在地	24年夏期 (7/21～8/31)【42日間】(人)	25年夏期 (7/21～8/31)【42日間】(人)	対前年比増減 (25年／24年)	施設種別 ※1
41	ひるがの高原　牧歌の里	岐阜県郡上市	50,792	45,416	▲ 10.6 %	複合
42	半田赤レンガ建物	愛知県半田市	35,269	42,040	19.2 %	複合
43	松阪農業公園ベルファーム	三重県松阪市	36,938	40,648	10.0 %	複合
44	岐阜ファミリーパーク	岐阜県岐阜市	※2 38,119	39,010	2.3 %	屋外
45	ぎふワールド・ローズガーデン	岐阜県可児市	32,605	34,984	7.3 %	屋外
46	野外民族博物館リトルワールド	愛知県犬山市	28,000	33,000	17.9 %	屋外
47	博物館明治村	愛知県犬山市	30,500	32,000	4.9 %	複合
48	国営木曽三川公園 木曽三川公園センター	岐阜県海津市	25,404	31,337	23.4 %	複合
49	東山スカイタワー	愛知県名古屋市	30,643	30,709	0.2 %	屋内
50	田原市芦ヶ池農業公園　サンテパルクたはら	愛知県田原市	25,497	29,205	14.5 %	複合
51	名古屋市東谷山フルーツパーク	愛知県名古屋市	25,804	26,529	2.8 %	屋外
52	あいち航空ミュージアム	愛知県豊山町	24,000	26,000	8.3 %	屋内
53	東三河ふるさと公園	愛知県豊川市	21,170	23,570	11.3 %	屋外
54	飛騨の里	岐阜県高山市	22,385	22,229	▲ 0.7 %	屋外
55	三河大島・西浦パームビーチ海水浴場	愛知県蒲郡市	17,228	20,026	16.2 %	屋外
56	体感！しだみ古墳群ミュージアム	愛知県名古屋市	15,181	12,099	▲ 20.3 %	複合
57	愛知こどもの国	愛知県西尾市	9,060	11,840	30.7 %	複合
58	セラミックパークMINO	岐阜県多治見市	※2 10,941	5,843	▲ 46.6 %	複合
-	おやつタウン	三重県津市	※7 非公開	※7 非公開	- %	屋内

回答のあった施設のみ掲載。
集客数は調査実施時点の集計数値。
「レゴランド®・ジャパン」(愛知県名古屋市)は数値非公開のため、調査対象外としている。
調査期間中に休業・休館期間や一時的な営業日数減を含む施設もある。

※1:「屋内」は屋内型施設、「屋外」は屋外型施設、「複合」は屋内・屋外複合型施設を示す
※2:過去の公表値を修正した施設
※3:ナガシマリゾートは 24 年夏期は 7/13～9/1(51 日間)、25 年夏期は 7/19～8/31(44 日間)。年により集計期間が異なるため、対前年比増減は未掲載。
※4:豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)は各年 7/1～8/31 の値
※5:刈谷市交通児童遊園は遊具延べ利用者数。
※6:愛知県美術館は以下にて算出
10 階美術館展示室の入場者数(会期が～8/17 のため、8/18～8/31 の集計なし)＋8 階美術館ギャラリーの入場者数(7/23～8/31 会期分)
※7:おやつタウンは集客数非公開。集客数への影響要因、客層の変化等の設問(4. 以降)には回答。

2. 2025 年夏期 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査結果［対前年比増減順］（1/2）

図表 2-1　対前年比増減順

№	施設名	所在地	24年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)	25年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)	対前年比増減 (25年／24年)	施設種別 ※1
1	愛知県美術館	愛知県名古屋市	22,864	※6 89,518	291.5 %	複合
2	徳川美術館	愛知県名古屋市	16,845	47,720	183.3 %	屋内
3	養老公園	岐阜県養老町	※2 77,962	133,388	71.1 %	屋外
4	でんきの科学館	愛知県名古屋市	83,696	143,006	70.9 %	屋内
5	トヨタ博物館	愛知県長久手市	43,392	62,990	45.2 %	屋内
6	愛知県国際展示場　Aichi Sky Expo	愛知県常滑市	※2 172,800	248,890	44.0 %	複合
7	南知多ビーチランド&南知多おもちゃ王国	愛知県美浜町	44,000	62,000	40.9 %	複合
8	愛知こどもの国	愛知県西尾市	9,060	11,840	30.7 %	複合
9	新穂高ロープウェイ	岐阜県高山市	41,915	53,866	28.5 %	屋外
10	リニア・鉄道館	愛知県名古屋市	63,213	80,300	27.0 %	屋内
11	国営木曽三川公園 138タワーパーク	愛知県一宮市	61,357	76,456	24.6 %	複合
12	国営木曽三川公園 木曽三川公園センター	岐阜県海津市	25,404	31,337	23.4 %	複合
13	刈谷市交通児童遊園	愛知県刈谷市	※5 95,367	※5 116,424	22.1 %	屋外
14	一色さかな広場	愛知県西尾市	80,700	97,000	20.2 %	屋内
15	岐阜城	岐阜県岐阜市	41,413	49,521	19.6 %	屋内
16	半田赤レンガ建物	愛知県半田市	35,269	42,040	19.2 %	複合
17	野外民族博物館リトルワールド	愛知県犬山市	28,000	33,000	17.9 %	屋外
18	三河大島・西浦パームビーチ海水浴場	愛知県蒲郡市	17,228	20,026	16.2 %	屋外
19	田原市芦ヶ池農業公園　サンテパルクたはら	愛知県田原市	25,497	29,205	14.5 %	複合
20	トヨタ産業技術記念館	愛知県名古屋市	57,713	65,886	14.2 %	屋内
21	犬山城	愛知県犬山市	63,932	72,546	13.5 %	複合
22	豊川市赤塚山公園	愛知県豊川市	57,498	64,850	12.8 %	複合
23	東三河ふるさと公園	愛知県豊川市	21,170	23,570	11.3 %	屋外
24	大高緑地	愛知県名古屋市	90,586	99,751	10.1 %	屋外
25	松阪農業公園ベルファーム	三重県松阪市	36,938	40,648	10.0 %	複合
26	日本中央競馬会　中京競馬場	愛知県豊明市	92,808	101,826	9.7 %	複合
27	バンテリンドーム ナゴヤ	愛知県名古屋市	675,639	734,662	8.7 %	屋内
28	ラグーナテンボス	愛知県蒲郡市	425,900	462,700	8.6 %	複合
29	かねふくめんたいパークとこなめ	愛知県常滑市	82,500	89,500	8.5 %	屋内
30	あいち航空ミュージアム	愛知県豊山町	24,000	26,000	8.3 %	屋内
31	ぎふワールド・ローズガーデン	岐阜県可児市	32,605	34,984	7.3 %	屋外
32	安城産業文化公園デンパーク	愛知県安城市	50,621	54,162	7.0 %	複合
33	河川環境楽園	岐阜県各務原市	866,981	921,720	6.3 %	複合
34	刈谷ハイウェイオアシス	愛知県刈谷市	940,000	998,000	6.2 %	複合
35	名古屋港水族館	愛知県名古屋市	504,060	532,887	5.7 %	複合
36	博物館明治村	愛知県犬山市	30,500	32,000	4.9 %	複合
37	名古屋市東谷山フルーツパーク	愛知県名古屋市	25,804	26,529	2.8 %	屋外
38	農業文化園・戸田川緑地	愛知県名古屋市	62,780	64,494	2.7 %	複合
39	中部国際空港セントレア	愛知県常滑市	1,006,526	1,033,366	2.7 %	屋内
40	岐阜ファミリーパーク	岐阜県岐阜市	※2 38,119	39,010	2.3 %	屋外

2. 2025 年夏期 東海 3 県主要集客施設・集客実態調査結果[対前年比増減順](2/2)

図表 2-2 対前年比増減順

№	施設名	所在地	24年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)		25年夏期 (7/21～8/31) 【42日間】(人)		対前年比増減 (25年／24年)	施設種別 ※1
41	名古屋城	愛知県名古屋市	※2	274,767		279,000	1.5 %	複合
42	豊橋総合動植物公園（のんほいパーク）	愛知県豊橋市	※2,4	140,323	※4	141,835	1.1 %	複合
43	蒲郡オレンジパーク	愛知県蒲郡市		54,502		54,798	0.5 %	複合
44	岡崎城公園（旧 岡崎公園）	愛知県岡崎市		74,400		74,800	0.5 %	複合
45	東山スカイタワー	愛知県名古屋市		30,643		30,709	0.2 %	屋内
46	飛騨の里	岐阜県高山市		22,385		22,229	▲ 0.7 %	屋外
47	日本モンキーパーク	愛知県犬山市		117,000		114,000	▲ 2.6 %	屋外
48	名古屋市科学館	愛知県名古屋市	※2	279,418		268,058	▲ 4.1 %	複合
49	ＪＡあぐりタウンげんきの郷	愛知県大府市		235,332		222,238	▲ 5.6 %	複合
50	幸田町民プール	愛知県幸田町		52,435		49,134	▲ 6.3 %	複合
51	ひるがの高原　牧歌の里	岐阜県郡上市		50,792		45,416	▲ 10.6 %	複合
52	碧南市農業活性化センターあおいパーク	愛知県碧南市		107,638		92,414	▲ 14.1 %	複合
53	豊田市鞍ケ池公園	愛知県豊田市		154,000		130,100	▲ 15.5 %	複合
54	体感！しだみ古墳群ミュージアム	愛知県名古屋市		15,181		12,099	▲ 20.3 %	複合
55	名古屋市国際展示場	愛知県名古屋市		136,967		108,905	▲ 20.5 %	屋内
56	志摩スペイン村	三重県志摩市		302,000		213,000	▲ 29.5 %	複合
57	セラミックパークMINO	岐阜県多治見市	※2	10,941		5,843	▲ 46.6 %	複合
-	ナガシマリゾート	三重県桑名市	※3	2,300,000	※3	2,160,000	※3 - %	複合
-	おやつタウン	三重県津市	※7	非公開	※7	非公開	- %	屋内

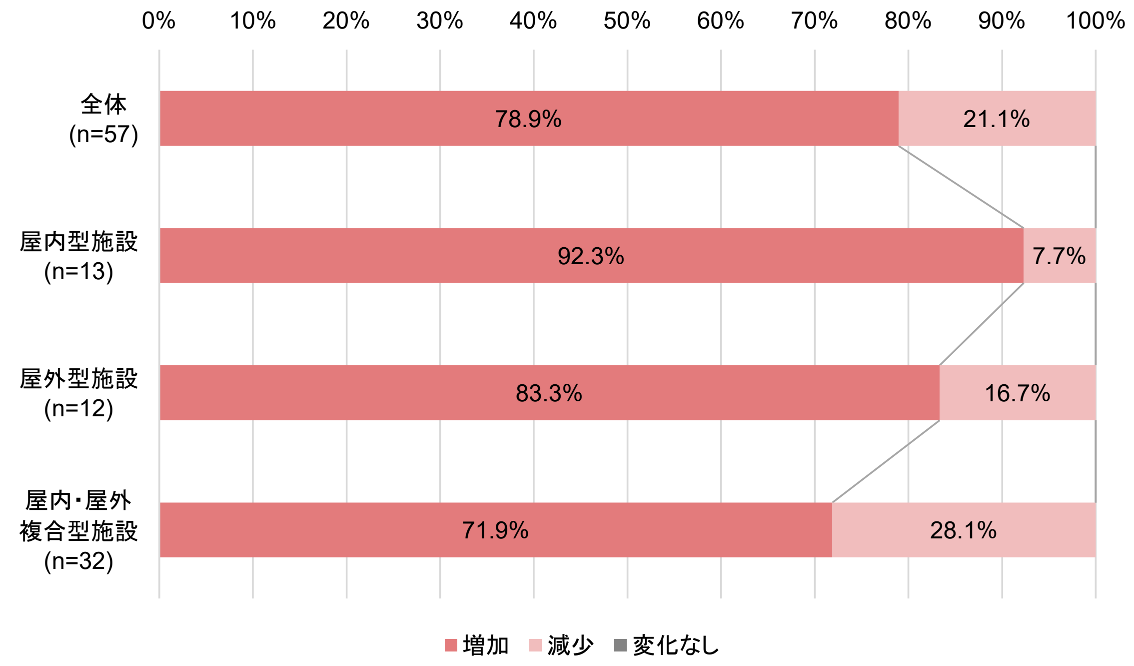
回答のあった施設のみ掲載。
集客数は調査実施時点の集計数値。
「レゴランド®・ジャパン」(愛知県名古屋市)は数値非公開のため、調査対象外としている。
調査期間中に休業・休館期間や一時的な営業日数減を含む施設もある。
対前年比増減の数値が表示上同じ場合も、小数点第 2 位以下の数値で順位付けを行っている。

※1:「屋内」は屋内型施設、「屋外」は屋外型施設、「複合」は屋内・屋外複合型施設を示す
※2:過去の公表値を修正した施設
※3:ナガシマリゾートは 24 年夏期は 7/13～9/1(51 日間)、25 年夏期は 7/19～8/31(44 日間)。年により集計期間が異なるため、対前年比増減は未掲載。
※4:豊橋総合動植物公園(のんほいパーク)は各年 7/1～8/31 の値
※5:刈谷市交通児童遊園は遊具延べ利用者数。
※6:愛知県美術館は以下にて算出
10 階美術館展示室の入場者数(会期が～8/17 のため、8/18～8/31 の集計なし)＋8 階美術館ギャラリーの入場者数(7/23～8/31 会期分)
※7:おやつタウンは集客数非公開。集客数への影響要因、客層の変化等の設問(4. 以降)には回答。

3. 2024年夏期の集客数との比較（全体・施設種類別）

※増減が比較可能な施設のみ

図表3　24年夏期の集客数との比較（全体・施設種類別）



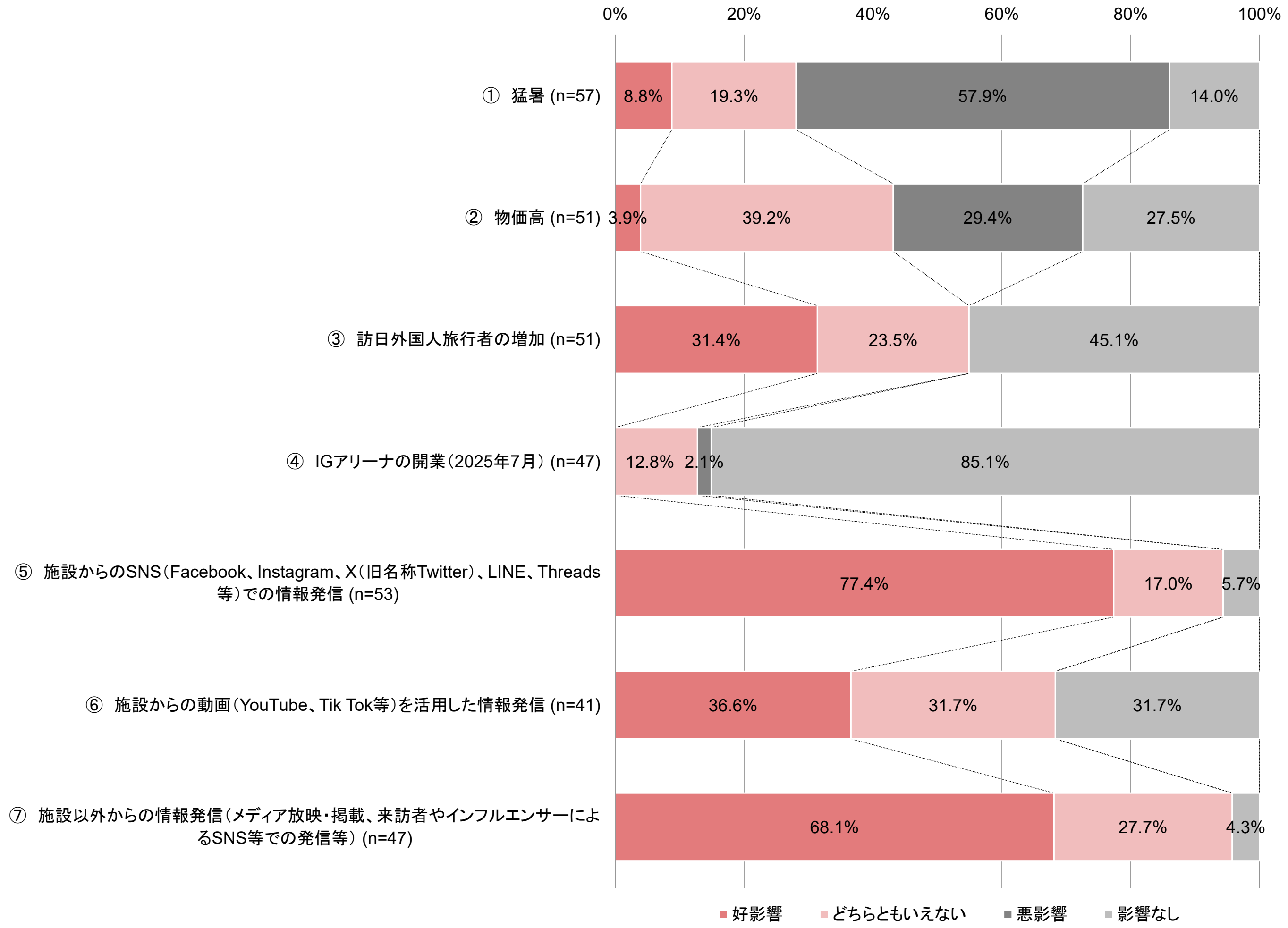
（参考）各項目の回答数

施設種別＼回答	増加	減少	変化なし	回答合計
全体	45	12	0	57
屋内型施設	12	1	0	13
屋外型施設	10	2	0	12
屋内・屋外複合型施設	23	9	0	32

4. 集客数への影響要因について

※影響不明を除く

図表 4-1 集客数への影響要因



(参考)各項目の回答数

	好影響	どちらともいえない	悪影響	影響なし	不明	無回答	有効回答合計
① 猛暑	5	11	33	8	2	0	57
② 物価高	2	20	15	14	8	0	51
③ 訪日外国人旅行者の増加	16	12	0	23	8	0	51
④ IGアリーナの開業(2025年7月)	0	6	1	40	11	1	47
⑤ 施設からのSNS(Facebook、Instagram、X(旧名称Twitter)、LINE、Threads等)での情報発信	41	9	0	3	6	0	53
⑥ 施設からの動画(YouTube、Tik Tok等)を活用した情報発信	15	13	0	13	17	1	41
⑦ 施設以外からの情報発信(メディア放映・掲載、来訪者やインフルエンサーによるSNS等での発信等)	32	13	0	2	12	0	47

〇トピックス①～暑さ対策

常態化している夏の猛暑は、人々の日中の出控えにもつながっており、集客施設では暑さ対策を強化している。各施設が前年から強化した暑さ対策の例を以下に示す。

■来訪者向け関連
〇空調機器や冷却システムの設置・増設
ミスト設備の設置・増設／ミストファンの導入／大型扇風機の設置／冷房設備の増設（スポットエアコン、扇風機等）／休憩室等の空調設備の更新／体験農園でのゴーヤのグリーンカーテンの設置　等

〇避暑・休憩施設の設置・増設
日陰エリアの拡大／日よけ設備（テント、パラソル等）の増設／入場列で待っている来訪者向けの日よけの増設／休憩用ベンチの設置／仮設テントの設置／冷風機設置休憩室の仮設／指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の追加設置／指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）として快適な館内温度設定に留意　等

〇熱中症対策用具の貸し出し・提供
日傘の貸し出し／無料ウォーターサーバーの設置／パークトレイン乗車客への氷の支給／熱中症予防のあめの用意／飲料自販機の増設　等

〇営業時間・施設利用時間の延長
夜間営業の実施／夜間営業日数の増加／夜間イベントの開催　等

〇暑さを和らげて楽しむことができるイベント・企画の実施
毎年開催している夏イベントの屋内実施数を増加／室内（冷房完備）イベントの実施／水遊び場の増加／水遊び企画の内容充実／噴水エリアの運営期間延長／夏の季節展示開催　等

〇熱中症注意喚起
熱中症指標計を活用した施設内での熱中症指数測定／熱中症警戒アラート発表時の熱中症注意喚起の実施／園内放送による注意喚起／水分補給・日陰での休憩などの啓発／こまめな水分補給の呼びかけ　等

〇設備・サービスの利用制限、ルール等の変更
高温に伴う施設利用制限の徹底／施設内飲食禁止の緩和（水分補給のため）／警備員による早めの空調稼働　等

■従業員向け関連
〇熱中症対策品の配布・貸与
熱中症対策タブレットや塩あめ、飲料の配布・設置／屋外スタッフへの氷の支給／冷却グッズ・日よけグッズ等の配布／空調服や冷却ベストの貸与／充電式保冷温庫の支給　等

〇就業環境の整備・改善
冷風、エアコン、スポットエアコンの設置・増設／休憩場所のリニューアル／警備員による早めの空調稼働／屋外作業時の就業規則の改正／屋外スタッフの休憩頻度の増加／午前・午後の休息時間の確実な確保／屋外での勤務時間の管理／熱中症指数計の導入、指数に応じた対策の実施　等

〇熱中症対策の啓発
熱中症対策の指導／水分補給の啓発　等

■その他・全般
動物用の大型扇風機設置・日よけの追加　等

○トピックス②～入場料・商品価格等の値上げ状況

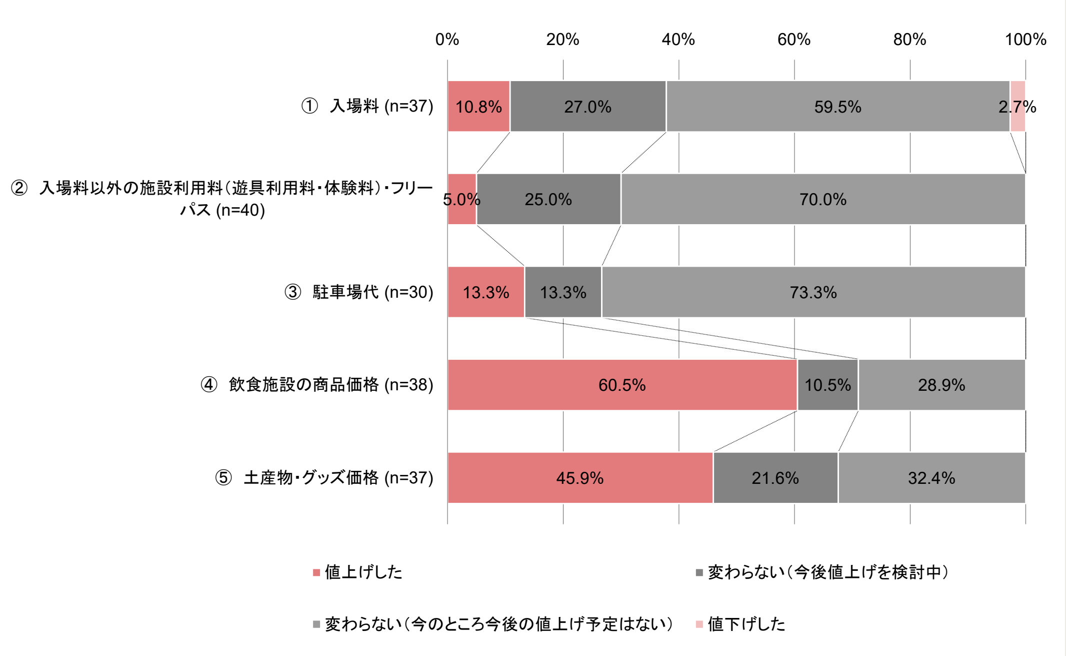
24 年夏期と比較した値上げの状況を項目別に見ると、「④飲食施設の商品価格」は約 6 割、「⑤土産物・グッズ価格」は約 5 割の施設が値上げを行った。前年調査時は、「④飲食施設の商品価格」は約 7 割、「⑤土産物・グッズ価格」は約 6 割の施設が値上げを行っており、引き続き値上げの傾向が見られる。

「①入場料」を値上げした施設の割合は約 1 割であり、前年調査時の約 3 割と比較して値上げした施設の割合は減少した。

「②入場料以外の施設利用料・フリーパス」についても、前年調査時の約 2 割と比較すると、値上げした施設の割合は 1 割未満に減少した。

「③駐車場代」は、前年調査時は値上げした施設の割合は 2.6%であったが、今回 1 割と微増した。

図表 4-2　入場料・商品価格等の値上げ状況

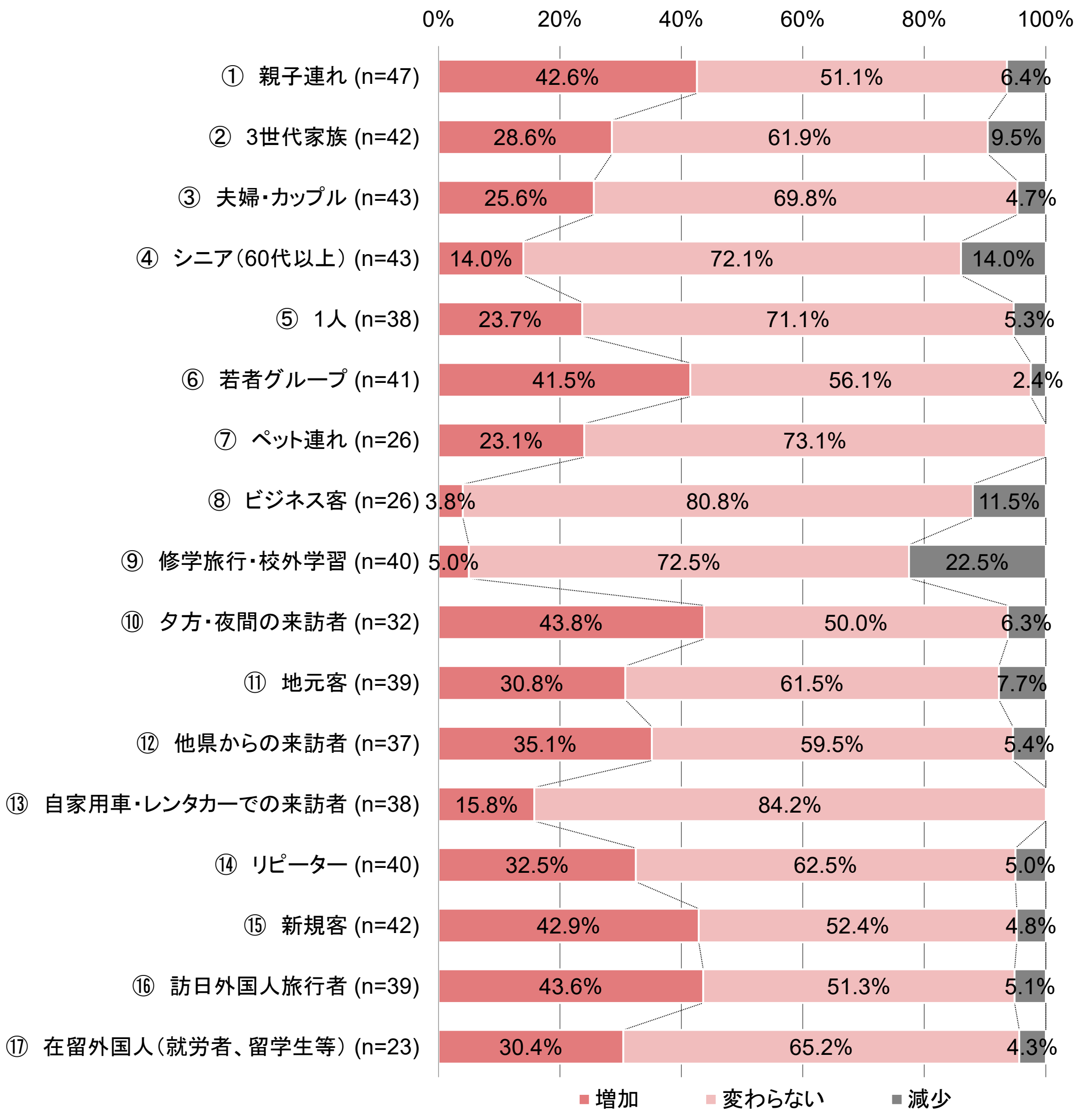


（注）①～⑤それぞれについて、「対象外（あてはまる商品・サービスがない）」を選択した施設を除いて集計している

5. 客層の変化について

※前年(24 年夏期)との比較。不明・無回答を除く。

図表 5-1　客層の変化



(参考)各項目の回答数

	増加	変わらない	減少	不明	無回答	有効回答合計
① 親子連れ	20	24	3	12	0	47
② 3世代家族	12	26	4	17	0	42
③ 夫婦・カップル	11	30	2	16	0	43
④ シニア(60代以上)	6	31	6	16	0	43
⑤ 1人	9	27	2	21	0	38
⑥ 若者グループ	17	23	1	18	0	41
⑦ ペット連れ	6	19	0	29	4	26
⑧ ビジネス客	1	21	3	32	1	26
⑨ 修学旅行・校外学習	2	29	9	19	0	40
⑩ 夕方・夜間の来訪者	14	16	2	23	4	32
⑪ 地元客	12	24	3	19	1	39
⑫ 他県からの来訪者	13	22	2	22	0	37
⑬ 自家用車・レンタカーでの来訪者	6	32	0	21	0	38
⑭ リピーター	13	25	2	19	0	40
⑮ 新規客	18	22	2	17	0	42
⑯ 訪日外国人旅行者	17	20	2	20	0	39
⑰ 在留外国人(就労者、留学生等)	7	15	1	35	1	23

○トピックス③～25 年夏期の集客･収益の確保･維持対策

25 年夏期は、上述の暑さ対策強化を含め、各施設で集客･収益の確保･維持に向けさまざまな取り組みが行われた。具体的な例を以下に示す。

■受入環境整備
○暑さ対策（トピックス①も参照）
暑熱対策の強化／噴水施設への日よけ設備の追加／屋外での休憩場所･涼める場所の増設／指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の設置　等

○その他
大型バス駐車場の整備／駐車場の拡張　等

■商品･サービス
○イベント･企画
魅力的なイベントの企画･開催／水鉄砲を使ったイベントの実施／漫画コンテンツとのコラボレーションイベントの実施／お盆セールの開催（産直市）／毎日ワークショップを開催（8 月中）／水遊び企画の内容充実／ナイターイベントへの新規コンテンツ導入／水族館における朝･夜間のイベントの実施／夜間開園時のアトラクション増加（ミニトレイン等）　等

○プロモーション･サービス向上
イベントのメインビジュアルの工夫／浴衣での来園者への入館料無料サービス実施（夜間利用促進策）／夏休み期間中の週末の開館時間延長　等

○飲食･物販
売店でのドリンク販売･商品拡販／企画展と合わせた特設ショップの設置／御朱印･重ね押しスタンプの販売　等

○その他
夜間開園イベントや花火大会時の天守閣席の設定（施設の貸し切り利用）　等

■情報発信
SNS での情報発信強化（発信頻度の強化等）／SNS･動画等を活用した積極的な情報発信／各種イベントの広報／サイネージ設置によるイベントの動画などの発信／MEO（マップエンジン最適化）対策の実施　等

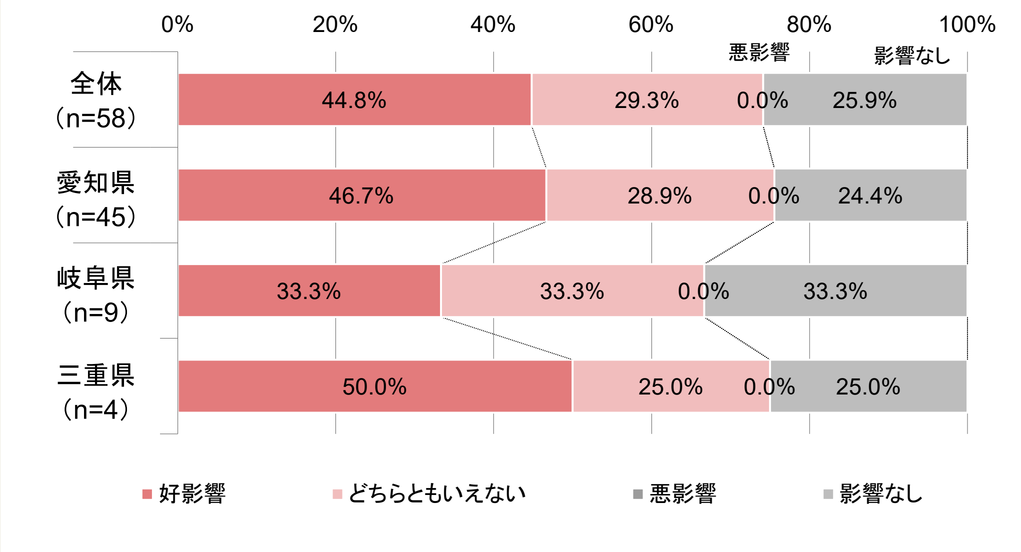
○トピックス④～「あいちウィーク」による集客への影響

「あいちウィーク」(11 月 21 日～27 日)には平日も含まれ(2025 年は 11 月 21 日(金)～27 日(木))、公立学校(幼稚園・小中学校・高等学校・特別支援学校)では、期間中の 1 日が学校休業日になることから、各施設の平日の集客にも影響するものと思われる。

2025 年のあいちウィーク期間中の平日の集客への影響は、全体では約 4 割の施設が「好影響」と回答した。施設所在地別に見ると、愛知県に立地する施設では、約半数の施設が「好影響」と回答している他、岐阜県・三重県の施設にも好影響がもたらされている。

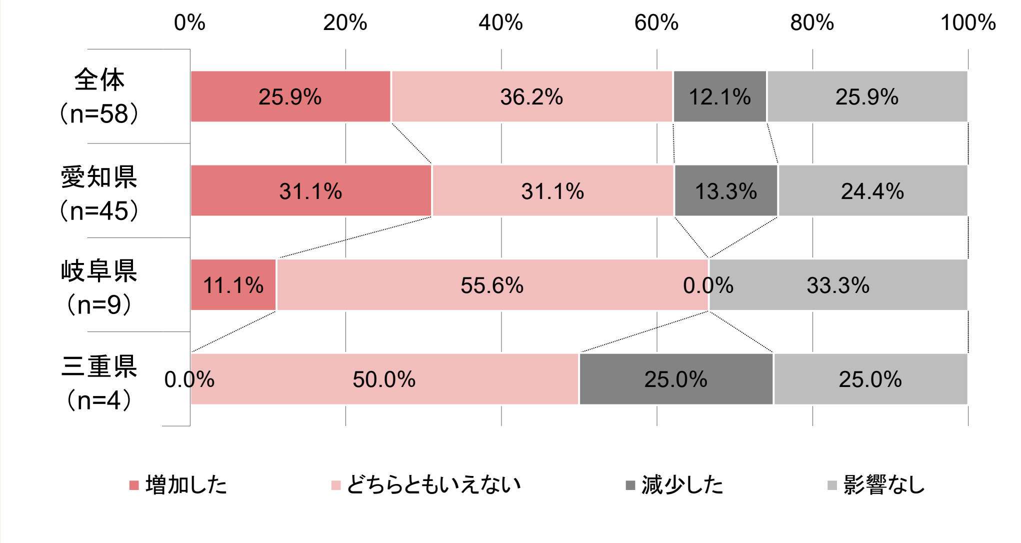
また、前年のあいちウィークと比較した集客の状況は、全体で「増加した」が約 3 割で「減少した」の約 1 割を上回った。施設所在地別では、愛知県に立地する施設では、「増加した」が約 3 割である一方、岐阜県は 1 割にとどまり、三重県では「増加した」という回答はなかった。集客増加の傾向は愛知県内に限られている。

図表 5-2　あいちウィーク期間中、平日の集客への影響（全体・施設所在地別）



(注)岐阜県、三重県は n 数が限定的である点に留意されたい。

図表 5-3　前年のあいちウィークと比較した集客の状況（全体・施設所在地別）



(注)岐阜県、三重県は n 数が限定的である点に留意されたい。

あいちウィーク期間と合わせて特別な企画・イベント等を実施した施設も見られた。具体的な取り組み例を以下に示す。

■2025 年 11 月のあいちウィーク期間と合わせて施設で実施された取り組み例

○イベントの開催

特別イベントの開催／地元こども食堂との共催によるイベント開催／小学生向けイベント「クルマに関わる

モノづくり・お仕事体験」の開催

○割引・無料サービスの実施
小学生の入館無料／小・中学生・高校生の入村料金の特別割引／有料常設展示室の無料開放／有料遊具無料券の配布／乗り物割引の実施／市内の学校の「県民の日学校ホリデー」に合わせた無料開放の実施

○営業日・時間の変更
通常休業日となる日の臨時営業／営業時間の変更

○あいち県民の日テーマソングの紹介
あいち県民の日テーマソングの動画を館内で放映し来訪者に紹介

今年度（2026 年 11 月）のあいちウィークに向けて予定している取り組みとしては以下の例が挙げられた。

■2026 年 11 月のあいちウィークに向けて予定している取り組み例
イベント開催／小学生の入館無料／市内の学校の「県民の日学校ホリデー」に合わせた無料開放／常設展示室の無料開放／アトラクションの利用無料

― ご利用に際して ―

■ 本資料は、執筆時点で信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。

■ また、本資料は、執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一的な見解を示すものではありません。

■ 本資料に基づくお客さまの決定、行為、およびその結果について、当社は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。

■ 本資料は、著作物であり、著作権法に基づき保護されています。著作権法の定めに従い、引用する際は、必ず出所：三菱 UFJ リサーチ&コンサルティングと明記してください。

■ 本資料の全文または一部を転載・複製する際は著作権者の許諾が必要ですので、当社までご連絡ください。